

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員20名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「銀河」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

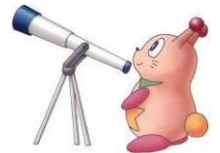
テーマ番組「470億光年の、その先へ」6月22日から投影スタート

2月16日から投影している、オリジナル番組「銀河」。みなさんはもうご覧になったでしょうか。「銀河」の投影は6月19日(日)まで。6月22日(水)からは、新番組「470億光年の、その先へ」がスタートします。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員20名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を20名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



6月の注目天体情報

☆見ごろの星座：りょうけん座

星座としてはあまり知られていませんが、見ごたえのある星団や銀河があり、知っておいていただきたい星座の一つです。りょうけん座の「コル・カロリ」という星は、望遠鏡で観察しやすい二重星として有名です。肉眼では一つにしか見えませんが、望遠鏡では白っぽい星とうす紫色の星が寄り添う姿を見ることができます。



☆りょうけん座の天体

りょうけん座でおすすめ天体、一つ目は「球状星団・M3」です。小さな望遠鏡でも星が密集している様子がなんとなくわかりますが、103cm大型望遠鏡で観察すると星がぎっしりと集まっているのがよくわかります。二つ目のおすすめは「子持ち銀河M51」です。私たちの銀河系の外の天体で、望遠鏡で観察してもとても淡いのですが、月明かりがない好条件の時は、103cm大型望遠鏡で観察すると、渦巻の様子や大小二つの銀河がつながっている様子を見ることができます。



☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観望会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。

